

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
【発行日】平成28年7月14日 (2016.7.14)

【公開番号】特開2014-232353(P2014-232353A)  
【公開日】平成26年12月11日 (2014.12.11)  
【年通号数】公開・登録公報2014-068  
【出願番号】特願2013-111732(P2013-111732)  
【国際特許分類】

G 0 6 F 11/34 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 11/34 H

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月26日 (2016.5.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

印刷を実行する画像形成装置であって、  
前記画像形成装置において発生したエラーのエラーログを記憶するメモリと、  
前記メモリの残容量に基づいて、前記メモリに記憶するログを制限する度合いを示すログ取得レベルを設定する設定手段と、  
前記画像形成装置においてエラーが発生した場合に、当該エラーに対応するログレベルと、前記設定手段によって設定されている前記ログ取得レベルとに基づいて、当該エラーのエラーログを前記メモリに記憶するか否かを決定する決定手段とを備え  
前記設定手段は、複数のログ取得レベルの中から、前記メモリの残容量に対応するログ取得レベルを設定することを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記設定手段によって設定されている前記ログ取得レベルを外部装置に通知する通知手段を更に備えることを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記メモリは、リングバッファメモリであることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

メモリを有し、印刷を実行する画像形成装置の制御方法であって、  
前記メモリに、前記画像形成装置において発生したエラーのエラーログを記憶する記憶ステップと、  
設定手段が、前記メモリの残容量に基づいて、前記メモリに記憶するログを制限する度合いを示すログ取得レベルを設定する設定ステップと、  
決定手段が、前記画像形成装置においてエラーが発生した場合に、当該エラーに対応するログレベルと、前記設定ステップにおいて設定されている前記ログ取得レベルとに基づいて、当該エラーのエラーログを前記メモリに記憶するか否かを決定する決定ステップとを備え  
前記設定ステップは、複数のログ取得レベルの中から、前記メモリの残容量に対応するログ取得レベルを設定することを特徴とする画像形成装置の制御方法。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の画像処理装置の制御方法を、コンピュータに実行させるためのプログラム。

【請求項 6】

印刷を実行する画像形成装置と情報処理装置とを備えるシステムであって、  
前記画像形成装置は、  
前記画像形成装置において発生したエラーのエラーログを記憶するメモリと、  
前記メモリの残容量に基づいて、前記メモリに記憶するログを制限する度合いを示すログ取得レベルを設定する設定手段と、  
前記画像形成装置においてエラーが発生した場合に、当該エラーに対応するログレベルと、前記設定手段によって設定されている前記ログ取得レベルとに基づいて、当該エラーのエラーログを前記メモリに記憶するか否かを決定する決定手段と、  
前記設定手段によって設定されている前記ログ取得レベルを前記情報処理装置に通知する通知手段とを備え、  
前記設定手段は、複数のログ取得レベルの中から、前記メモリの残容量に対応するログ取得レベルを設定し、  
前記情報処理装置は、  
前記通知手段によって通知された前記ログ取得レベルを示すメッセージを表示する表示手段を備えることを特徴とするシステム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上記特許文献 1 では、上記問題を解決するためハードディスクのような外部記憶装置が要求されるため、少量のメモリのみで外部記憶装置を備えない画像形成装置にはコスト的、スペース的にも適用が難しい。

本発明は、上記の課題を解決するためになされたもので、本発明の目的は、メモリの残容量に基づいて、エラーログを当該メモリに記憶するか否かを決定する仕組みを提供することである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成する本発明の画像形成装置は以下に示す構成を備える。

印刷を実行する画像形成装置であって、前記画像形成装置において発生したエラーのエラーログを記憶するメモリと、前記メモリの残容量に基づいて、前記メモリに記憶するログを制限する度合いを示すログ取得レベルを設定する設定手段と、前記画像形成装置においてエラーが発生した場合に、当該エラーに対応するログレベルと、前記設定手段によって設定されている前記ログ取得レベルとに基づいて、当該エラーのエラーログを前記メモリに記憶するか否かを決定する決定手段とを備え、前記設定手段は、複数のログ取得レベルの中から、前記メモリの残容量に対応するログ取得レベルを設定することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 0 7 】

本発明によれば、メモリの残容量に基づいて、エラーログを当該メモリに記憶するか否かを切り決定することができる。